



# 清峰だより

平成 28 年 1 月 29 日 (金) 発行  
長崎県立清峰高等学校  
学校通信 第 106 号  
発行責任者 校長 井上 龍二

## 必ず道は開ける

進路指導主事 加賀 義

現在、3年生は、多くの方が進路決定していますが、あともうひと頑張りという人もいます。進学でも就職でも、入念に受験先を選び、努力した上で最終的に決まったところなら、「自分に縁がある場所なのだ」と思って、そこで全力を尽くすことが大事だと思います。

希望の学校や会社に入れた人は、良いスタートができるよう、今から準備しましょう。「必ずしも第一希望でなかった」という人も、自分がその場所を選んだことを後悔しないで、「そこから何ができるだろうか」ということを考えて、一生懸命やってほしいと思います。そうすると、必ず何か良いことが起き、道が開けてくるはずですよ。どのような場所からでも、花を咲かせることはできます。

大学や専門学校に入ったとたんに「さあ、遊ぶぞ」と考えて時間を空費し、何もしないまま卒業したり、学校から去っていったりする人が世の中にたくさんいます。しかし、清峰生には、そうなってほしくありません。今よりも、さらに勉強家になり、新たなことにチャレンジし、進学先で代表的な生徒になってほしいと願っています。就職した人は、入社当初は「いかに自分が何もできないか」を知らされることでしょう。けれども、かんたんにめげてはいけません。その中で工夫し、仕事のレベルアップをはかりましょう。

1・2年生の皆さんは、これからが本番ですね。残された時間は黄金のようなもの。切れはしの時間も上手に活用しながら、目標達成に向けて歩いていきましょう。

### 2月行事予定

- 2日(火) 総学学年発表会(2年生)
- 3日(水) 3年登校日(主権者教育)
- 4日(木) 推薦入試
- 6日(土) 県新人駅伝大会  
2年対外模試(~7日)
- 7日(日) 全商商業経済検定
- 9日(火) 総合学科発表会リハーサル
- 10日(水) 総合学科発表会, 3年登校日  
考査時間割発表
- 12日(金) 進路別ミニ集会
- 15日(月) 進路別ミニ集会
- 16日(火) 2年進路別集会, 3年登校日  
消費生活支援講座(3年生)
- 18日(木) 第4回考査(~23日)
- 24日(水) 3年登校日
- 27日(土) 清峰音楽祭
- 28日(日) 式場設営等(木③④⑤の授業)  
式歌練習, 3年登校日
- 29日(月) 卒業式予行, 同窓会入会式  
3年登校日

### 部活動実績報告

#### バドミントン部

佐世保地区学年別シングルス大会

2年: 鷲淵加奈ベスト16

1年: 溝口聖華ベスト16

#### 剣道部

全国選抜大会長崎県予選

男子団体1回戦 対 海星 1-4 負

女子団体1回戦 対 島原中央 3-1 勝

2回戦 対 長崎日大 0-4 負

#### バスケットボール部(男・女)

長崎県新人戦

男子1回戦 対 明誠 73-54 負

女子1回戦 対 瓊浦 59-106 負

## 清峰音楽祭の御案内

2月27日(土)に、佐々町文化会館において、PTA主催の「清峰音楽祭」が開催されます。これまでにない初めての試みではありますが、合唱部・吹奏楽部による演奏と、スペシャルゲストをお招きしての、楽しい音楽祭になると思います。入場無料で事前申込の必要はございません。ぜひ御来場ください。

期日 平成28年2月27日(土) 13:30開場 14:00開演  
場所 佐々町文化会館 大ホール  
出演 コーラス部(賛助出演:チェロ 西本琢人氏, ピアノ 稗田夏子氏)  
吹奏楽部  
PTAコーラス隊  
川田金太郎氏

(お問い合わせ:0956-62-2132 清峰高等学校)

## (インフルエンザ対策)

こころとからだの支援部 辻 圭子

年明けから1ヶ月・・・本格的な寒さが到来しました。校内でも咳やくしゃみをしているマスク姿の人が目立ちます。寒波の訪れとともに心配されるのがインフルエンザの流行です。風邪やインフルエンザに多く見られる症状は、咳と喉の痛み、そして発熱などですが、インフルエンザの場合、感染するとすぐに38℃を超える体温の上昇と、頭痛、吐き気、関節痛、筋肉痛など全身の症状が現れることが特徴です。インフルエンザは感染力が強く、特に学校など集団の中では、あっという間に大流行してしまいます。朝から38℃以上の発熱があった場合はインフルエンザの疑いも考慮して、無理をさせず早目の受診をお願いいたします。インフルエンザは、発症後5日間かつ解熱後2日を経過するまでは出席停止となりますので、診断を受けたら学校まで連絡をお願いいたします。



## 「3年間を振り返って」

3年1組 近藤健一

清峰での3年間はあっという間でした。こんなに素晴らしい仲間や先生方と出会えて幸せな反面、これから自立していくことへの期待と不安が入り交じっています。私は野球部に所属して日々鍛錬し、学校生活では生徒会長として清峰を盛り上げるために行事の企画や運営などを率先してやってきました。また、小中学校9年間無欠席と高校3年間、計12年間無欠席を目指して清峰ライフを充実させてきました。清峰は最高の学校でした。やる時はやる!、楽しむ時は楽しんで行事を活気あふれたものにする学校は清峰がNo.1だと思います。清峰は私の心と体を成長させてくれた場所でもありました。これから福岡大学へ進み、清峰で培ったことを様々な面で発揮していきます。3年間、本当にありがとうございました。

# 総合学科発表会の御案内

総合学科主任 鈴木 信雄

今年度の総合学科発表会は、以下の日程で行われます。生徒たちの1年間の学習活動、総まとめの日です。ぜひご来場ください。

日時 平成28年2月10日(水) 9:35 ~ 12:30 場所 本校体育館  
会次第 オープニング 全校合唱「あすという日が」 開会行事

「私の歩んだ道・歩む道」(パネルディスカッション)

3年生による後輩へのメッセージ(進路3分野:進学・就職・公務員)

1年「産業社会と人間」発表

- ①産業社会と人間の取り組み(科目選択) ②社会理解(NIE)
- ③職業理解(職業人講話・インタビュー) ④職業体験(インターンシップ)

2年「総合的な学習の時間」発表

- ①進路研究(進学・就職) ②修学旅行(自主研修・ディズニーアカデミー)
- ③NIE

3年「総合的な学習の時間」(課題研究)発表

- ①「消費税8%に引き上げられた時企業が行った努力とは」【政治・経済】
- ②「盗塁の成功率を上げる方法」【環境(スポーツ含む)】
- ③「幼児が楽しめて興味をもてる絵本の特徴とは」【生活・社会】
- ④「映像作品はどのように製作すると視聴者に効果的に伝わるか」【情報・メディア】

エンディング(Say Hope! 語ろう 私たちの<sup>あす</sup>将来を!) 閉会行事

展示内容

- 1年 産業社会と人間 学習活動紹介
- 2年 進路研究、NIE、修学旅行自主研修
- 3年 課題研究学年発表会 発表者プレゼン内容、全生徒論文  
その他 授業作品、清峰新聞、清峰だより、進路状況

Say Hope! 語ろう 私たちの<sup>あす</sup>将来を!



長崎県立清峰高等学校 総合学科発表会

平成28年2月10日(水)

NAGASAKI prefectural SEHO High School



【3年課題研究 学年発表会】

←デザイン: 2-5 浦川安奈

## 「佐々町生きがい教室 in 清峰」を実施しました 福祉担当 佐藤 由香利

昨年8月に介護職員初任者研修を修了した「3年福祉選択生」3名は、9月からの発展学習として、金曜日の午後の授業を利用し、「いきいき地域交流事業」を行ってきました。この事業では、佐々町内のグループホームや浜迎地区の地域デイサービスなどを訪問し、様々なレクリエーションプログラムを実践してきました。

今年度、最後の交流事業となった1月15日（金）は、佐々町の介護予防事業の一つである「生きがい教室」の利用者29名の皆様を清峰高校にお招きし、楽しいひとときを一緒に過ごしました。会場が学校ということもあり、3年声楽選択生の18名と2年福祉選択生の6名にも協力をお願いしました。最初に「たき火」、「ペチカ」などの「冬のメドレー」を合唱しました。利用者の皆様は、自然と一緒に口ずさんだり、目を細めながら聞き入ったりと、穏やかな時間を過ごすことができました。その後は、紅組、白組に分かれて、口、手、足を使ったゲームで体を部分的に動かし、風船アタックでは上半身、下半身を大きく動かし、最後には「佐々町ご当地クイズ」で頭をフル回転させました。介護予防を意識したバリエーションに溢れたレクリエーションを通して、チーム戦ということもあり徐々に白熱し、皆様大いに楽しんでおられました。

佐々町地域包括支援センターの保健師江田佳子様からは、高齢者の特徴を理解した上でのレクリエーションを企画する際の注意点など、今後に活用できる貴重なご助言をしていただきました。いつもとは違う学校での実施ということで、不安な面も多くありましたが、試行錯誤しながら準備を進め、それぞれが楽しんでいらっしゃる姿を見ることができ、大変いい企画となりました。卒業後も、それぞれが選んだ場所で様々な人との出会いを大切に活躍して行ってほしいと思います。



### 生徒の感想

訪問の回を重ねるごとに、利用者の方が楽しんでいる姿を見ることで、徐々に達成感が出てきた。ゲーム途中の励ましや応援の声かけなど、接し方を工夫することで更に楽しんでもらえると感じた。

三年四組 山崎 凌

佐々町ご当地クイズのように、利用者に合った内容を考えることで、より楽しんでいただけるということを知った。はじめの頃は「声を大きく、ゆっくり、はっきり」と毎回言われていたが少しずつ改善することができた。

三年四組 倉富 有里

レクリエーションを企画するときには、内容だけでなく、利用者の運動機能、理解度、安全対策など広い視野で考えなければならぬと思った。就職後にも生かしていきたい。

三年四組 小山 茜音